

# MCC研修プログラム

## リスクマネジメント要員向け

### 一般社員向け

**#01 「MCC eラーニング」**

- ・eラーニングによる自習(随時)
- ・標準所要時間
- ・1.5+2.5=4時間

「信用リスク管理の考え方及びフレームワーク」と「与信・債権管理業務を支える必須の基礎知識」の二部構成。  
業務初心者への導入学習及び人材能力開発の節目における基礎固めに最適。

三井物産社内研修と同一規格。

**#03 「MCC eラーニング・フォローアップ研修」**

- ・集合研修
- ・応需随時開催
- ・2.5時間/回
- ・当社講師

「MCC eラーニング」の要点解説及びQ&Aを中心とした補完的な対面研修。  
eラーニングの学習成果の定着を確実にする上で効果的。

三井物産社内研修と同一規格。

**#05 「MCCセミナー・与信・債権管理講座」**

- ・集合研修
- ・毎月・年10回開催
- ・2.5時間/回
- ・外部講師

一年間を通じて、担当業務を一通りこなせるだけの基礎的なナレッジ・スキル習得を狙いとする連続講座。「与信管理の基本」、「財務諸表と財務分析」、「登記情報・興信所情報の活用」、「商取引基本契約」、「債権管理の基本」、「債権保全と担保」、「倒産(清算・再建)手続」、「緊急時対応」、「海外与信・債権管理」等が主なテーマ。  
専門要員の基礎養成はもとより、営業マンを含む社員の標準装備底上げに最適。

当社の「旗艦」常設講座として、長年の実績・定評あり。  
三井物産からも参加。

**#07 信用リスク管理「スキルアップ研修」**

- ・集合研修
- ・随時開催(応需随時可)
- ・1.5~2.5時間/回、当社講師

業務ニーズを基に、特定の分野によりフォーカスした題材を取り上げ、より突っ込んだ形で研修化、随時実施(一部“定番メニュー”化も検討)。  
テーマ例:「海外与信管理のフレームワーク」、「在庫・売掛金担保の活用」、「海外財務諸表分析」、「信用保険・信用保証の基礎知識」等。  
専門要員の他、題材によっては営業マンを含む社内研修にも活用可能。  
三井物産社内研修と同一規格。

**#02 「与信管理実務・導入研修」**

- ・集合研修
- ・春/秋・年2回定期開催(応需随時可)
- ・3時間/回
- ・当社講師

与信業務開始直前・直後の最低限の備えとして、「業務及び基礎知識の全体図」、「信用限度の基礎(信用限度とは、信用程度回りの業務)」、「社内規程全般及び信用限度関連ルール」等について、コンパクトに概説する、速成研修。  
業務初心者、特にアシスタント職の導入研修に最適。

三井物産社内研修と同一規格。

**#04 与信・債権管理「基礎講座」**

- ・集合研修
- ・夏/冬・年2回定期開催(応需随時可)
- ・2時間/回×3
- ・当社講師

与信・債権管理業務に必要なナレッジ・スキルのベーシックについて俯瞰的に概説する集中講座。「国内与信管理(企業信用力評価)」、「国内債権管理(債権保全・回収)」、「海外与信・債権管理」の3編で構成。  
業務開始後一定期間経過後に、振り返りと気付きの場として実施するのが効果的。

三井物産社内研修と同一規格。

**#06 与信・債権管理「実務ワークショップ」**

- ・集合研修
- ・毎月・年10回開催
- ・1.5時間/回
- ・当社講師

より実践的なナレッジ・スキル強化を図り、現場実務における対応能力のステップアップを目指すシリーズ講座。  
「与信判断のための英文アニュアル・レポートの活用法」、「中国企業との売買基本契約における与信上の留意点」、「粉飾が疑われる決算書へのアプローチ」等、当社に寄せられた要望を踏まえ、時宜を得たテーマを順次取り上げます。

1~3年程度の業務経験者の振り返りと気付きの場として設定するのが標準且つ効果的。

三井物産からも参加。

**#08 信用リスク管理「総合演習セミナー」**

- ・集合研修
- ・春・秋年2回開催(応需随時可)
- ・終日、外部講師(コンサルタント他)

与信管理及び債権管理の総合的な業務遂行の能力向上を眼目に、既に獲得した力量の更なるストレッチを図るべく、題材を其々財務・経理分野及び法務分野から抽出、ケース・メソッドによる総合演習として実施する短期集中研修。  
テーマ例:「社債格付機関のレーティング手法」、「会社分割を活用した事業再生」等。  
専門要員が一段階に進む際の総括、動機付けの場として最適。  
三井物産社内研修と同一規格。

**#09 「海外現地与信管理研修」**

- ・集合研修
- ・毎四半期・年2回開催(応需随時可)
- ・1.5時間/回、当社講師

海外駐在者向けに、現地与信・債権管理の心得や基本動作について、事故事例も参照しながら、要諦をレクチャー。  
三井物産社内研修と同一規格。

**#10 「リスクマネジメント法務教室」**

- ・集合研修
- ・年1~2回開催
- ・1.5時間/回
- ・外部講師(弁護士)

リスクマネジメントに係る法務分野から時宜を得た題材を取り上げ、知見を広げて行く中で応用力を培うことが主眼。実例を多用し、参加型の学びの場を目指す。  
当面、「事業再生」を基幹テーマとして題材を抽出して設定。  
専門要員の自己啓発を通じ、専門性に根ざしたリスクマネジメント機能・組織の総合力強化に有効。

三井物産社内研修と同一規格。

**#11 「リスクマネジメント財務・経理教室」**

- ・集合研修
- ・年4~6回開催
- ・1.5時間/回
- ・外部講師(CPA他)

リスクマネジメントに係るファイナンス及びアカウンティングの分野から時宜を得た題材を取り上げ、知見を広げて行く中で応用力を培うことが主眼。「リスクマネジメント法務教室」の姉妹講座。  
テーマ例:「粉飾決算の発見」、「財務諸表の実態修正の手法」、「経営計画のチェック・ポイント」等。  
専門要員の自己啓発を通じ、専門性に根ざしたリスクマネジメント機能・組織の総合力強化に有効。

三井物産社内研修と同一規格。

**#12 「グローバル・リスクマネジメント講座」**

- ・集合研修
- ・毎四半期・年4回開催
- ・2.5時間/回
- ・外部講師(弁護士他)

信用リスク、カントリー・リスク、市場リスク等、様々なリスクに対する総合的な対処能力の強化を図るべく、巷間注目のテーマを取り上げ、専門家による事例の解説を踏まえ、実務へのインプリケーションを検討し共有する。  
リスクマネジメント担当部署を中心に、題材によっては営業や財務・経理他の管理部署への注意喚起等にも効果的。

三井物産社内研修と同一規格。

**#13 「MCCカンファレンス」**

- ・集合討議
- ・年1回開催、終日(合宿も可)
- ・クライアント/外部講師/当社協働

リスクマネジメント全般に亘る諸領域の中から、足元或いは目先注目・留意すべき問題や課題を取り上げ、関係の専門家を交えて横断的に様々な角度から検討を加え、成果を共有する場として設定するもの。  
リスクマネジメント職能要員を中心に、主体的な参加者による創発的な場とすることを志向。

**#14 「リスクマネジメント研究会」**

- ・集合研修
- ・随時開催(テーマ毎に連続複数回)
- ・2.5時間/回
- ・外部講師(弁護士他)

リスクマネジメントに関連する法・会計等の制度的枠組みを始め、業務環境を左右する様な重大な問題や課題について、その影響を分析・評価し予め適宜準備・用意を進めるべく、一歩先んじての研究を行う場を設けるもの。  
テーマ例:「IFRS導入の企業財務評価への影響」、「債権法改正の債権保全・回収に及ぼす影響」等。  
リスクマネジメント機能・組織におけるコア人材育成を睨んでのアクション・ラーニングとしても活用可能。

初級

上級